

| | | | |
|------------|--|---------|----|
| ふりがな 氏名 | あんどう きょうこ 安藤 恭子 | 職名 | 講師 |
| 取得学位 | 修士(芸術) | 学会での受賞歴 | |
| 主な担当科目 | 保育内容の理解と方法(音楽)、歌とピアノの技術、子どもの遊びと音楽、保育内容演習(表現2)、総合表現演習、保育者養成基礎講座、保育者養成発展講座、保育者養成実践講座 | | |
| 所属学会 | 日本音楽教育学会、日本保育文化学会 | | |

◆ 教育業績

| 事項 | 実施年月(日) | 概要 |
|----------------------------------|---------------------------|--|
| 1) 理論的な学びを交えたピアノ演奏指導 | 平成30年～令和4年各4月～8月 | 演習科目「保育内容の理解と方法(音楽)」では、1年次(前期)を対象に、保育における音楽的支援に必要なピアノ演奏技術の習得を目指して個人レッスン指導を行った。音楽の理論的な説明を交えることによって、演奏技術だけでなく、基礎的な知識も深まるように留意した。また、令和3年度には、演奏動画を利用した遠隔授業を行い、学生のピアノ学習を支援した。 |
| 2) 実践に繋がる子どもの歌を用いた弾き歌い指導 | 平成30年～令和4年各4月～8月または9月～翌1月 | 演習科目「歌とピアノの技術」では、「保育内容の理解と方法(音楽)」で習得したピアノ演奏技術や音楽の基礎的な知識をもとに、子どもの歌を教材とした弾き歌いの個人レッスン指導を行った。弾き歌いの技術を身につけることはもちろん、歌唱に適した季節や関連する絵本など、実践に繋がる知識も深まるように留意した。 |
| 3) 音楽的活動に対応したピアノ演奏指導 | 平成30年～令和4年各4月～8月 | 演習科目「子どもの遊びと音楽」では、卒業年次を対象に、それまで習得した知識や演奏技術をさらに向上させ、学外実習や採用試験、保育現場におけるさまざまな音楽的活動に対応できる能力を身につけることを目指して個人レッスン指導を行った。受講生の演奏技術に合わせた指導によって、実践力と応用力の向上に努めた。 |
| 4) 子どもの音楽的表現の発達に合わせた器楽活動および奏法の指導 | 令和2年～令和4年各4月～9月 | (小田原短期大学保育学科通信教育課程) 演習科目「音楽表現Ⅱ」では、1年次(通年)を対象に、保育における演奏や音楽遊びなどの支援に役立てることを目指して音楽を総合的に学習する。前期は、子どもの音楽的表現の発達を学びながら、器楽活動に用いる楽器の特徴や奏法を指導するとともに、楽器を使った遊びや手作り楽器の製作、ボディパーカッションについて実践を交えながら取り組んだ。 |
| 5) 子どもの歌を用いた理論指導 | 令和2年～令和4年各10月～2月 | 後期は、前期の学びを保育現場で実践するために必要な音楽の基礎的な知識について、子どもの歌を例に挙げながら指導した。コード伴奏譜の作成まで到達させることで、保育現場における実践を想定し、見通しを持ちながら取り組めるように工夫した。 |
| 6) 同時双方向型による遠隔授業の取り組み | 令和2年～令和4年各4月～翌2月 | Google Meet や Microsoft Teams を用いた同時双方向型による遠隔授業も取り入れ、学生の学びを支援した。発表の場を設けたり、チャット機能を利用したりすることによって、ICTを有効に活用するだけでなく、学生が主体的な姿勢で受講できるように工夫した。 |

◆ 研究業績

| 区分 | 著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称 | 単・共 | 発行・発表年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名) | 備考 |
|---|--|--------|------------|---|--|
| 著書 | 『これからの保育者・教育者のために 子ども理解と音楽表現の指導法—理論と実践の統合—』 | 共 | 平成30年4月3日 | 名古屋女子大学短期大学部保育学科 ISBN978-4-9909437-2-1 | 編著者:河合玲子、白石朝子 著者:阿部多香子、天野久美、 <u>安藤恭子</u> 、井上めぐみ、内田由美子、小栗美砂、河合玲子、近藤悦子、白石朝子、鈴木彩、濱野織、堀夏紀、水野妃佐子 担当:全107ページ中、第1部第2章第2節(pp.35-40)、第2部第1章第7節(p.72) |
| | 『実践につながる 新しい教育・保育実習:自ら学ぶ実習を目指して』 | 共 | 令和4年3月1日 | ミネルヴァ書房 ISBN978-4-623-09332-8 | 編著者:谷口征子、大浦賢治 著者:谷口征子、大浦賢治、 <u>安藤恭子</u> 他(全31名) 担当:全197ページ中、Step12(pp.28-30),Step22(pp.50-51),Step23(p.52),Step37(pp.79-80),Step38(pp.81-84) |
| 論文 | 「領域「表現」の学びへ向かう音楽遊びの検討:未就園児を対象としたワークショップをもとに」 | 単 | 平成31年3月 | 名古屋女子大学紀要第65号 人文・社会編 | pp.299-310 |
| | 「領域「表現」において子どもの言葉遊びから育まれる豊かな音楽表現の一考察:子どものしりとりから展開する表現活動の実践例より」 | 共 | 平成31年3月 | 名古屋女子大学紀要第65号 人文・社会編 | 河合玲子、阿部多香子、 <u>安藤恭子</u> 、濱野織、井上めぐみ、鈴木彩、天野久美 pp.215-228、共同執筆につき抽出不可。 |
| | 「音楽聴取の実態と身近な音に対する意識との関連:保育者養成校の学生を対象とした質問紙調査から」 | 単 | 令和3年3月 | 保育文化研究第12号 | pp.51-62 |
| | 「ピアノ演奏時における「あがり」の予備研究—保育者養成校の学生を対象に—」 | 共 | 令和4年3月 | 小田原短期大学研究紀要第52号 | <u>安藤恭子</u> 、細川賢司、加藤由紀子、服部安里 pp.97-104 担当: I . II-2. IV . V . |
| 「保育者養成課程の学生における授業時間外のピアノ学習—演奏動画の利用に着目して—」 | 共 | 令和4年3月 | 保育文化研究第14号 | <u>安藤恭子</u> 、服部安里 pp.1-10、共同執筆につき抽出不可。 | |
| 学会発表 | 「保育者養成課程の学生におけるピアノ学習の現状—動画サイトの閲覧に着目して—」 | 共 | 令和3年10月1日 | 日本音楽教育学会 第52回大会(オンライン開催) | <u>安藤恭子</u> 、服部安里 要旨 p.39 |
| | 「ピアノ演奏時における「あがり」対策の検討—保育者養成校の学生を対象に—」 | 共 | 令和4年3月13日 | 日本保育文化学会 第7回大会(オンライン開催) | 服部安里、 <u>安藤恭子</u> 要旨 pp.10-11 |
| | 「保育者養成課程における演奏動画を利用したピアノ学習—自動演 | 共 | 令和4年11 | 日本音楽教育学会 第53回大会(オンライン | <u>安藤恭子</u> 、服部安里 要旨 p.27 |

| | | | | | |
|-----------|--|---------------------|--|--|---|
| | 奏動画と模範演奏動画の利用から一」 「保育者養成課程における音楽の理論的な学びと学生の捉え一保育者としての発信を見据えて一」 | 単 | 月 5 日 令和 5 年 3 月 12 日 | 開催) 日本保育文化学会 第 8 回大会(オンライン開催) | 要旨 p.5-6 |
| 展 覧 会 | | | | | |
| 演 奏 会 | 「愛・知・芸術のもりから一ロマン派の調べ一」 ピアノ「プレイエル」の小さなコンサート 『それぞれの音楽の時代一バロックから現代まで一』vol.4 仔羊会「ジョイントコンサート」 | 共 共 共 | 令和元年 9 月 5 日 令 和 元 年 12 月 8 日 令 和 4 年 8 月 28 日 | SMBCパーク栄サロン (愛知県立芸術大学開催協力) メナード美術館 アネックスホール 岡崎市せきれいホール | シューベルト:即興曲 Op.142-3 シューベルト:4つのポロネーズより Op.75-1,4 (1台4手) シューマン=リスト: 献呈リスト:ハンガリー狂詩曲第 2 番 (1台4手) 武満徹「リタニーマイケル・ヴァイナーの追憶に一」より 歌曲4曲(テノール:遠山貴之) ショパン:ノクターン第 5 番 Op.15-2 |
| その他 (報告書) | | | | | |